

Istanbul Weekly vol.7-no.18

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2018年5月25日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：各政党、6月総選挙の国会議員候補者リストを高等選挙委員会に提出。
イスタンブールでイスラム協力機構(OIC)の緊急首脳会議が実施。
- 経済**：トルコリラ相場、対1米ドル4.9290と過去最低値を記録。
消費者信頼感指数、対前月比2.8%減の69.9。
- 治安**：警察がアタテュルク国際空港でロシア人のISIL容疑者2名を拘束。
警察がイスタンブールでヘロインや大麻等の違法薬物400キロを押収。
- 軍事**：エルドアン大統領：「オリーブの枝」作戦により武装勢力4,456名を無力化。
- 社会**：市内フェリーがラマダン期間中増便。
ガラタサライ長友選手が「侍パフォーマンス」を披露。

政治

【内政】

●各政党、6月総選挙の国会議員候補者リストを高等選挙委員会に提出

21日、6月の総選挙に向けた議員候補者リストの提出が締め切られ、各政党は、いずれも、憲法改正後の新たな国会議員定数(600)と同数の600名の候補者リストを高等選挙委員会(YSK)に提出した。各党の候補者リストの概要は以下のとおり。

(1)AKP:現職議員316名のうち167名が立候補。現職閣僚では、シムシェッキ副首相、ゼイベキジ経済相、アーバル財務相、ファルク科学産業技術相、チェリッキEU相が不出馬。イスタンブールでは、アルバイラク・エネルギー天然資源相(第1区第1位)、ソイル内相(第2区第1位)、クルトウルムシュ文化観光相(第3区第1位)が公認。

(2)CHP:現職議員131名のうち74名が出馬。候補者全体の22.8%に当たる137名が女性候補者。拘留中のベルベルオールCHP議員(イスタンブール第2選挙区第1位)が公認された。

(3)HDP:現職議員48名のうち21名を候補者に選出。候補者600名のうち、女性候補者は228名と主要政党の中で最多。ブルダンHDP党首は、イスタンブール第1選挙区第1位で公認。

(4)MHP:現職議員35名のうち22名が公認。パフチェリMHP党首は、オスマニエ第1位で公認され、同党首に近いとされる人物を大都市の立候補者の上位に据えた。

(5)優良党:現職の議員6名のうち3名が出馬。MHPから優良党に離党した多くの候補者が大都市の候補者に立候補。

(5月21日付H紙21面他)

●インジェ CHP 議員、6月実施選挙に向けてマニフェストを発表

19日、大統領候補者のインジェCHP議員は、来る6月の選挙に向けて、マニフェストを発表した。同マニフェストは、「法律」、「民主主義」、「経済」、「外交政策」、「教育」から成る「五本の柱」を政策とした他、非常事態宣言の解除、最低賃金の引上げ、新たな憲法の制定なども含まれている。(5月20日付H紙22面)

●トルコリラ相場下落に対する政界の反応

23日、トルコリラ相場が市場最安値を更新したことを受け、エルドアン大統領は、「為替相場の変動は、国際的なレベルの問題」として、トルコ国内に起因する問題ではないことを強調し、我々が解決できないような懸念はないと述べた。一方で、同日、大統領候補者のインジェ CHP 議員は、トルコ経済は停滞寸前であると批判した他、アクシェネル優良党党首は、与党は現実を直視していないと批判し、早急に信頼を回復することを求めた。(5月24日付H紙17面)

●アルバイラク・エネルギー天然資源相、6月の選挙に言及

22日、アルバイラク・エネルギー天然資源相は、アンカラで記者団の質問に答え、6月の総選挙で、AKPが議会多数派を形成できなかった場合でも、同選挙後の早期選挙は実施しないと述べて、選挙結果にかかわらず早期の再選挙実施の可能性を否定した。(5月24日付HDN紙3面)

【外交】

●イスタンブールでイスラム協力機構(OIC)の緊急首脳会議が実施

14日、イスラエルの米国大使館がエルサレムに移転し、ガザにおいてパレスチナ人のデモ隊が約60人殺害されたことを受け、17日、エルドアン大統領の呼びかけで、イスタンブールでイスラム協力機構(OIC)の緊急首脳会議が実施された。同会

議には、ローハニ・イラン大統領やタミーム・カタール首長を始めとした10か国以上から首脳級が出席した。同会議での共同声明は、同移転の決定は無効であり、パレスチナ人の殺害を非難するとともに、米国に追従する国や企業等に対する経済的な対抗策をとると警告した。(5月19日付H紙20面)

●エルドアン大統領、アッパース・パレスチナ大統領と会談

22日、エルドアン大統領は、アッパース・パレスチナ大統領と電話会談を行った。同会談では、パレスチナの最新の状況が議論された。また、両首脳は、18日のイスラム協力機構(OIC)の緊急首脳会議は、イスラム諸国が共通の姿勢を示す上で重要な会議であったと強調した。(5月23日付H紙15面)

●エルドアン大統領、イフタルの席上でイラン核合意に言及
21日、エルドアン大統領は、AKP本部で行われたイフタルの席上、9日にトランプ米大統領がイラン核合意からの米国の離脱を発表したことに言及し、トルコは、米国離脱後も、依然として28の加盟国が合意を維持すると表明したことを非常にポジティブに捉えていると述べた。また、原子力エネルギーは、平和的な目的に対してのみ利用されるべきであり、核兵器は世界中から一掃される必要があると述べた。(5月23日付HDN紙4面)

経済

【マクロ経済】

●トルコの民間部門借入金、対前年比増

17日、トルコ中央銀行は、トルコの民間部門が保有する外貨建短期借入金が3月末時点で対2017年比約4億米ドル増の186億米ドルに達し、長期借入金も55億米ドル増の2,268億米ドルに達したと発表。トルコの民間部門の長期借入金は、約60%が米ドル、34.9%がユーロで保有されている。(5月18日付HDN紙11面)

●消費者信頼感指数、対前月比2.8%減の69.9

23日に発表されたトルコ統計庁(TUIK)のデータによると、5月の消費者信頼感指数は対前月比2.8%減の69.9となった。同指数の全ての下位指標が減少し、貯蓄可能性予測指数も対前月比5%減の26.8と最大の減少幅を示した。消費者信頼感指数は、100を超えると楽観的な見通し、100を下回ると悲観的な見通しを示す。(5月24日付HDN紙11面)

【金融・為替】

●トルコリラ相場、対1米ドル4.9290と過去最低値を記録

(1)21日、シムシェッキ副首相、チェティンカヤ中央銀行総裁等が会合を開き、トルコリラ安に対して中央銀行が取り得る措置等について議論した。(5月23日付HDN紙インターネット版)

(2)22日、信用格付機関フィッチの声明を受け、トルコリラは対1米ドル最低記録を更新した。エルドアン大統領は、6月24日の大統領選挙で勝利すれば、たとえインフレであっても金利を引き下げるべきである、と繰り返し述べている点について、フィッチは、トルコの金融政策の独立性の崩壊が、外部資金調達難やマクロ経済環境の悪化に深刻な影響を与え、トルコの信用に更なる低下圧力がかかるだろうと言及した。(5月23日付HDN紙10面)

(3)トルコリラ相場は、22日終値の対1米ドル4.6746から下落し、23日の午前中には4.9290と過去最低値を更新した。ゼイベキジ経済相は、金融政策を担当する全て機関は必要な措置を取らなければならない、トルコリラの価値に対していかなる投機的な損失も許容できないと述べるとともに、トルコリラの急落とトルコの実体経済とを結びつけることは不可能であると

付け加えた。(5月24日付HDN紙1面及び11面)



(写真は、5月23日付HDN紙インターネット版より)

●ブルームバーグ社、主婦等の日本の個人投資家もトルコリラ安の原因と指摘

アメリカのブルームバーグ社は、23日のトルコリラの対米ドル為替相場での急落の原因について、日本の主婦層もその一端を担っていると指摘した。同社はトルコ債がトルコリラと共に日本の投資家に大変人気があり、彼らのトルコ債に対するマインドは「売り」に転じたことがリラ安に影響していると伝えた。主婦を含む日本の投資家は、高い金利収入及び為替変動が投資判断に左右する市場への投資に熱心である。(5月24日付C紙11面)

【国際経済】

●トルコ政府、米国の鉄鋼等の関税措置に対して対抗措置

18日、トルコ経済省の関係筋によれば、トルコ政府は米国が輸入する鉄鋼に25%、アルミニウムに10%の関税を課すことを3月に決定したことに対して対抗措置をとる。同政府は米国からトルコへの石炭、紙、クルミ、アーモンド、タバコ、未加工米、ウイスキー、自動車、化粧品、機械器具及び石油化学製品の輸入に、合計2億6,650万米ドルの関税を課す。(5月18日付HDN紙インターネット版)



(写真は、5月18日付HDN紙インターネット版より)

【経済政策】

●燃料価格の特別消費税を引き下げへ

17日、トルコ政府は、トルコリラ安及び原油価格の高騰に対応するため、燃料価格の特別消費税を引き下げると述べた。最近の国際的な原油価格の上昇及びトルコリラ安は、輸送費の上昇をもたらす、トルコのインフレ率の上昇に拍車をかけているとされている。(5月18日付HDN紙11面)

●世界銀行、トルコのプロジェクト2件に対し10億ドルの融資を承認

世界銀行は、トルコの天然ガス貯蔵拡大プロジェクト(6億米ドル)及び女性の労働市場参加を促進させる様々なプロジェクト(4億米ドル)に対し、合計10億ドルを融資することを承認した。天然ガス貯蔵拡大プロジェクトは、中央アナトリアのトゥズ湖(Tuz Golu)近くの地下ガス貯蔵施設を拡張してトルコのガス供給の信頼性及び安全性を高めることを目的とする。国営ガス会社ボタシュ(BOTAS)が実施する同事業では、女性の労働市場参加を促進させるプロジェクトは、開発が進んでいない地

域の女性や企業を対象とした長期融資を行いやすくすることを目的として、トルコ政府の保証の下、トルコ産業開発銀行 (TSKB) が借り手となってプロジェクトを仲介及び実施する。(5月24日付 HDN 紙 11 面)

【企業の動き】

●エミレーツ NBD 銀行、トルコのデニズ銀行を 32 億米ドルで買収

ドバイ最大の銀行であるエミレーツ NBD は、中東、北アフリカ及びトルコにおける主要銀行としての地位を確立するため、トルコのデニズ銀行を 32 億米ドルでロシアの国営スベルバンク (Sberbank) から買収することに合意した。デニズ銀行のハカン・アテシュ CEO は、経営陣は残留し、銀行の名前にも変更はないと述べた。同行は現在、トルコで 5 番目の規模。(5月24日付 HDN 紙 1 面及び 11 面)



(写真は、5月22日付 HDN 紙インターネット版より)

治安

【ISIL 関係】

●アタテュルク国際空港でロシア人の ISIL 容疑者 2 名を拘束

20 日、イスタンブール県警テロ対策課は、アタテュルク国際空港からトルコに入国したロシア人 2 名の携帯電話を調べたところ、携帯電話に同人が ISIL に忠誠を誓う動画とイスタンブール県警本部長の画像が保存されていることを確認したため、ISIL 関連容疑者として拘束した。(5月21日付 HT 紙 15 面)

【その他】

●MIT がエルドアン大統領暗殺計画に関する情報を入手

19 日、ボズダー副首相は、エルドアン大統領の外遊先であるボスニアにおいて、同大統領暗殺の脅威があると述べた。20 日、エルドアン大統領は、ボスニアにおけるスピーチで「MIT から暗殺計画の情報があるとの報告を受けたが、このような脅威により我々が行動を止めることはない。」と述べた。(5月20日付 HDN 紙 4 面)



(写真は、5月20日付 HDN 紙インターネット版より)

●内務省が過去 1 週間の治安対策の成果を発表

21 日、内務省は、過去 1 週間の治安対策の成果として、合計 1,388 回のテロ対策オペレーションにより武装勢力 21 名を無力化(殺害 11 名、拘束 8 名、投降 2 名)、PKK 容疑者 190 名、ISIL 容疑者 35 名、FETO 容疑者 527 名を拘束し、シェルター 6 施設を破壊、即席爆弾 7 個、爆発物原材料 326 キロ、多数の

銃器、弾薬を押収したと発表した。また、その他のテロ関連容疑者 768 名、密出入国ブローカー 75 名が拘束され、サイバー犯罪容疑者 413 名に対する行政措置が講じられた。薬物犯罪の取締りでは、合計 3,516 回のオペレーションにより容疑者 3,216 名が拘束され、マリファナ 328 キロ、錠剤 3 万 4,433 個等が押収された。(5月21日付 HDN インターネット版)

●警察がイスタンブールでヘロインや大麻等の違法薬物 400 キロを押収

17 日、警察は、イスタンブール市シリヴリ区において、クロアチアからのトラックに積載されていたヘロインや大麻等の違法薬物 400 キロを押収した。また、20 日には、ペンディック区において欧州へ向かうトラックからヘロイン 130 キロが押収された。(5月24日付 HDN 紙 4 面)



(写真は、5月24日付 HDN インターネット版より)

●警察がムーラ県で違法薬物「スカンク」100 キロを押収

21 日、警察は、ムーラ県で実施した薬物対策オペレーションにより、容疑者 6 名を拘束し、大麻系の違法薬物「スカンク」100 キロを押収した。

軍事

●エルドアン大統領:「オリーブの枝」作戦により武装勢力 4,456 名を無力化

16 日、エルドアン大統領は、シリアのイドリブで行われている「オリーブの枝」作戦により、これまでに武装勢力 4,456 名を無力化したと述べた。また、最近の対 PKK オペレーションにより、イラクで 403 名、トルコで 345 名の PKK 戦闘員を無力化したことを明らかにした。(5月18日付 HDN 3 面)

社会

●博物館ウィーク始まる

「博物館ウィーク」が始まり、イスタンブール市の考古学博物館、アヤソフィア博物館、トルコ・イスラーム美術博物館などを始めトルコ全国の 39 の博物館、美術館は、5月18日から24日までの間、午後 23 時まで開館時間を延長し、通常の開館時間以降の入場料を無料とする。(5月18日付 HT 紙 19 面)

●市内フェリーがラマダン期間中増便

市内のフェリー各社はラマダン期間中、エミノニューカドゥキョイ間の最終便を 21 時 10 分から 01 時 20 分へ、ベシクタシューカドゥキョイ間の最終便を 22 時 15 分から 01 時 15 分へ、エミノニューカドゥキョイ間の最終便を 01 時に延長する。(5月18日付 HT 紙 19 面)

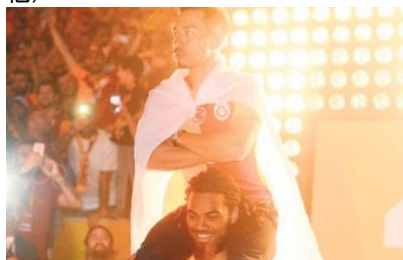
●カンヌ国際映画祭でトルコの「野生ナシの木」がノミネート

9 日から始まった第 71 回カンヌ国際映画祭で、是枝裕和監督の「万引き家族」が最高賞のパルムドールを受賞して注目を集めた中、トルコのヌーリ・ビルゲ・ジェイラン監督の「野生ナシの木」が上映された。同映画は同映画祭最高賞であるパルムドール獲得候補 21 作品の中で最後に上映された映画となり、観客からは大きな拍手が沸いた。(5月20日付 HT 紙 Kelebek イ

インターネット版)

●ガタサライ長友選手が「侍パフォーマンス」を披露

19日、トルコ1部のスーパー・リーグが最終節を迎え、ガタサライが勝利を飾り、2015年以來となるリーグ制覇を成し遂げた。優勝イベントで、DF デナイエルに肩車されて日本の国旗を身にまとい、刀をふりかざす「侍パフォーマンス」を披露した長友は「人生初のリーグ制覇の喜びを経験し、とても嬉しい。トルコに来てから子供も生まれ、優勝することも出来た。子供が私たちに運を呼んだと思う。」と述べた。(5月21日付M紙24面他)



(写真は、5月22日付M紙インターネット版より)

●2018年は「トロイ年」

文化観光省は、トロイの世界遺産登録20年目を迎える2018年を「トロイ年」と定め、広報活動を活発化させている。今年1月から4月までに同遺跡を訪れた人の数は昨年と同期間の約2倍である14万2千519人に達したことが分かった。さらに「トロイ博物館」がチャナッカレ県のテヴフィキエ村に今夏開館する予定。(5月22日付H紙4面)



(写真は、5月21日付H紙インターネット版より)

●イスタンブール音楽祭始まる

イスタンブール文化芸術基金(IKSV)が主催するイスタンブール音楽祭が23日、シリ区のあるルトウフィ・クルダル会議場でのイスタンブール・フィルハーモニー交響楽団のコンサートを皮切りに幕開けする。同フェスティバルは6月12日まで。(5月22日付H紙4面)

●タクシム教育研究病院の新病棟が開館間近

2015年に病棟建て替えのため、タクシムからガージオスマンパシャに移転していたタクシム教育研究病院が、タクシムの新病棟完成を迎え、6月中に開院する。新しい病棟は広さ5万平米、ベッド数250、手術室7。なお、4月に火災が発生したガージオスマンパシャの病棟も6月11日に再開予定。(5月22日付HT紙22面)

●第6回国際アーチェリー大会始まる

26日から29日までトルコ・アーチェリー連盟と世界アーチェリー連盟が共催する「第6回国際アーチェリー大会」がオクメйдンのアーチェリー・クラブで開かれる。同大会には世界50か国より約2,000人のプレイヤーが参加する。(5月24日付HT紙21面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DHMI	国家航空局	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	国民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家債発行	YOK	トルコ高等教育評議会
MUSIAD	トルコ独立産業者・実業家協会	YSK	選挙高等委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
A	Aksam	HDN	Hürriyet Daily News
AA	Anadolu News Agency	HT	Haberturk
AFP	Agence France Presse	IA	Ihlas News Agency
Cumhuriyet	Cumhuriyet	JP	Interpress
D	Dünya	M	Milliyet
DA	Doğan News Agency	P	Posta
DS	Daily Sabah	S	Sabah
H	Hürriyet	V	Vatan

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2018.1.1～2018.5.24 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2017年		12件		2件		14件		0件
2018年	0件	7件	0件	0件	0件	9件	0件	3件

★当館 HP 更新のお知らせ★

- キャウットハーネ I T O 高校日本文化祭 (報告) (05/18) **NEW**